

7/15-21 #8「あなたの務めを十分に果たしなさい」Bird's EyeView 主の目には、ただ一つの務めがあるだけです

A ペテロはユダの代わりが必要であることについて語って、「ユダは私たちの間に数えられ、この務めの分を割り当てられていました」と言いました：使徒1:17 ユダは私たちの間に数えられ、この務めの分を割り当てられていました。1使徒たちは、主が「この務めと使徒職の地位を、継がせられるの」にどちらを選んだのかをはっきりと示してくださるようにと祈りました。使徒1:25 ユダがそれて自分の場所へ落ちてしまったこの務めと使徒職の地位を、継がせられるのでしょうか。217節と25節で用いられているように、「務め」という言葉は、イエスの証しを担う務めのことを言っています。a使徒は十二人いましたが、彼らの務めは唯一無二でした。「この務め」とは、キリストのからだの原則にある一つの団体的な務めです。bすべての使徒は同じ務めを遂行し、肉体と成り復活し昇天した、すべてのものの主であるイエス・キリストの唯一の証しを担いました。B2コリント4:1でパウロは言います、「私たちはあわれみを得て、この務めを受けたのですから、落胆しません」；2コリ4:1 こういうわけで、私たちはあわれみを得て、この務めを受けたのですから、落胆しません。12コリントにおける務めは、新約の奉仕者たちの団体的な務めです。aすべての奉仕者には、その務めにおいて彼ら自身の分があります。bこの団体的な務めにおいて、パウロにはパウロの分があり、ペテロにはペテロの分があり、テモテにはテモテの分がありました。2テモ4:5しかし、あなたはすべての事柄に冷静であり、苦難に耐え、伝道者のわざを行ない、あなたの務めを十分に果たしなさい。c私たちはこれらすべての分を共に加えるとき、新約の務めである「この務め」を持ちます。2多くの奉仕者には一つの務め、神の新約エコノミーを完成するための新契約の務めがあります。3すべての使徒たちの働きは、この唯一の務めを遂行すべきであり、キリストを人々に供給して、キリストのからだを建造すべきです。C2コリント3:6は、神は私たちを「新しい契約の奉仕者として、資格づけて」くださったと告げています：2コリ3:6神はまた私たちを新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。それは、文字ではなく、霊の奉仕者です。なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです。1その霊、手順を経た三一の神の究極的表現は、神聖な命を、さらには神ご自身を信者たちと使徒たちの中へと分け与えて、彼らを新しい契約の奉仕者とします。2ですから、彼らの務めは、命を与える霊によって、命である三一の神で構成されています。D「私は、私をカづける方、私たちの主キリスト・イエスに感謝しています。この方は私を忠信な者と認めて、その務めに任命して

くださいました」(1テモ1:12)。1この節でパウロは、「この方は私を私の務めに任命してくださいました」とは言っていない。2パウロは、主が彼を唯一無二の団体的な新約の務めに任命したと言っています。3私たちはみな、主が彼のあわれみと恵みによって、キリストのからだを建造する団体的な務めに私たちを任命してくださいましたゆえに、主を賛美すべきです。II前に述べたいいくつかの節は、新約における務めが団体的なものであることを啓示していますが、他のいくつかの節は、務めが個人的なものでもあることを示しています。A使徒20:24は、パウロの個人的な務めを指しています。なぜならパウロは、彼が主から受けた務めについて語っているからです。この節の務めは個人的な務めです：使徒20:24しかし、私が自分の行程と、主イエスから受けた務めを全うして、神の恵みの福音を厳かに証しするためには、自分の命を尊いとは思いません。1パウロの務めは彼の存在でした。彼とキリストは一となっていました。2彼が宣べ伝えたものは、彼が何であるかでした。彼は彼の存在そのものを他の人たちに供給しました。3パウロはキリストと一であり、キリストで構成されていました。こういうわけで、彼の務めは、彼の存在の中へと構成されていたキリストの務めでした。B使徒21:19は明確にはっきりと、パウロの個人的な務めに言及しています。「パウロは...神が異邦人の間で、彼の務めを通して行なわれた事柄を一つ一つ述べた」。使徒21:19そこで、パウロは彼らにあいさつしてから、神が異邦人の間で、彼の務めを通して行なわれた事柄を一つ一つ述べた。Cコロサイ4:17は言います、「主にあってあなたが受けた務めを心にとめ、それを果たすようこと言ってください」。アルキポは務め(a ministry)を持っていました。同じ原則で、私たちはみな務め(a ministry)を持っています。コロ4:17 アルキポに、主にあってあなたが受けた務めを心にとめ、それを果たすようこと言ってください。D2テモテ4:5でパウロはテモテに、自分の務めを十分に果たすようこと命じています：2テモ4:5しかし、あなたはすべての事柄に冷静であり、苦難に耐え、伝道者のわざを行ない、あなたの務めを十分に果たしなさい。1テモテが自分の務めを十分に果たすことは、テモテの務めの度量を完全に満たすことでした。2この務めは言葉の務めを意味し、キリストのあらゆる豊富を罪人にも信者にも供給して、キリストのからだを建造することです。3このような務めは、2テモテ4:3と4で預言されているような、衰退する傾向に立ち向かうために必要不可欠です。E新約の務めはキリストのからだの奉仕であるので、またからだには多くの肢体がいるので、あらゆる肢体にはそれ自身の務めがあります：エペ4:11そして彼ご自身は、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道

者、ある人たちを牧する者また教える者として与えられました。**12** それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり、**1** 肢体の面から言えば、多くの務めがあります。しかしながら、からだ全体の面から言えば、ただ一つの務めがあるだけです。**2** 私たちの個人的な務めは、団体的な務めから分離しているべきではありません。**3** からだには団体的な務めがあり、からだのすべての肢体には個々の務めがあります。**4** すでに見てきたように、からだの肢体のすべての務めを共に加えると、団体的な務めに等しいのです。**5** さまざまな角度からの同じ語りかけがあるべきです：**1コリ1:10** さて兄弟たちよ、私は、私たちの主イエス・キリストの御名を通して、あなたがたに懇願します。どうか、あなたがたがみな同じ事を語り、あなたがたの間に分裂がなく、同じ思いの中で、また同じ意見の中で調和されますように。**1** 多くの人が起こされて、さまざまな角度から同じ事を語る必要があります。**2** 私たちは、主がさらに多くの人を起こして、この唯一の務めを遂行させると信じます。**3** 私たちはみなこの務めに分があります。これはさまざまな機能、さまざまな角度、さまざまな面を持つ一つの務めです。**4** 私たちは人に従ったり、だれかを模倣したりしてはいません。しかしながら、私たちは同じ事を供給しています。**III** 「それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり」(エペ4:12)
A 使徒、預言者、伝道者、牧する者また教える者は、12節で述べられているように、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと至らせるためです。**B** 11節の賜物のある多くの人には、ただ一つの務めを持っています。それは、キリストを供給して、キリストのからだを建造することです。これは、新約エコノミーにおける唯一の務めです。**C** 聖徒たちを成就することは、その務めの働きへと至らせ、その務めの働きは、キリストのからだの建造へと至らせます。**D** 「これが主の回復であり、これが私たちの委託であり、これが私たちの負担であり、これが私たちの務めです。この務めに分があるとは、私たちは何と祝福されていることでしょう!」
CP1 主の目にはただ一つの務めがあるだけであり、すべての奉仕者にはその団体的な務めにおいて彼ら自身の分がある
I 主の目には、ただ一つの務めがあるだけです。**B** 2コリ4:1でパウロは言います、「私たちはあわれみを得て、この務めを受けたのですから、落胆しません」：**2コリ4:1** こういうわけで、私たちはあわれみを得て、この務めを受けたのですから、落胆しません。**12** コリントにおける務めは、新約の奉仕者たちの団体的な務めです。**a** すべての奉仕者には、その務めにおいて彼ら自身の分があります。**b** この団体的な務めに

において、パウロにはパウロの分があり、ペテロにはペテロの分があり、テモテにはテモテの分がありました。**2テモ4:5** しかし、あなたはすべての事柄に冷静であり、苦難に耐え、伝道者のわざを行ない、あなたの務めを十分に果たしなさい。**c** 私たちはこれらすべての分を共に加えるとき、新約の務めである「この務め」を持ちます。**2** 多くの奉仕者には一つの務め、神の新約エコノミーを完成するための新契約の務めがあります。**3** すべての使徒たちの働きは、この唯一の務めを遂行すべきであり、キリストを人々に供給して、キリストのからだを建造すべきです。**D** 「私は、私を力づける方、私たちの主キリスト・イエスに感謝しています。この方は私を忠信な者と認めて、その務めに任命してくださいました」(1テモ1:12)**1** この節でパウロは、「この方は私を私の務めに任命してくださいました」とは言っていない。**2** パウロは、主が彼を唯一無二の団体的な新約の務めに任命したと言っています。**3** 私たちはみな、主が彼のあわれみと恵みによって、キリストのからだを建造する団体的な務めに私たちを任命してくださったゆえに、主を賛美すべきです。

その務めは、一つの建造、すなわちキリストのからだを建造するための新契約の唯一の務めを意味し、この務めは新約の数千の奉仕者の唯一の奉仕です。キリストのからだのすべての肢体はこの務めに分を持っています。すべての信者はその務めに分を持っていますが、彼らの分は分離した務めではなく、一つの務めの分であるにすぎません。神の新契約を遂行することは、ただ一つの務めを必要とします。もし一つ以上の務めがあるなら、その結果は混乱です。

適用: 青少年・大学生、新人編

証1 ハレルヤ、神は私たちを新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。毎週木曜日 Daytimeトレーニングがあることを感謝します。訓練の中の真理、命、奉仕のメッセージは、新約の務めの内容からなっています。兄弟姉妹と共に新約の務めの語りかけを聞く時に、その霊が私の中で働いていることを感じます。神の言葉は霊であり、命です。神の命の言葉が私の中に注入されると、私の中の消極的なものは殺され、霊的な死、失望、弱さから出て来ることができました。そして、その霊で満たされ、主と共に出て行って福音と牧養の実行をすることができました。また享受した務めの言葉を顧みている青少年たちに伝え、その霊が彼らの中でも働いて、福音と牧養の負担が彼らからも出て来たことを感謝します。最近三人の小学生の兄弟たちがYP地区に入りましたので、中高生の兄弟たちも負担を持って彼らを顧みています。また、小

学生の兄弟姉妹が多くの友人を誘い、集会に連れて来ることができました。彼らの福音の霊に触れました。彼らは若いからといって、軽んじられてはいけません。救われた小学生たちも皆、新しい契約の奉仕者です。彼らも福音を宣べ伝えることができます。

証2 主の目にはただ一つの務めがあるだけです。それは聖徒たちを成就してその務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためです。キリストのからだを建造するために、すべての肢体が命を成長させて機能を発揮する必要があります。私が奉仕を学び始め、新人を顧み始めていた時、新人たちの願望に従って、例えば進学できるように、仕事が見つかるように、結婚できるようにと祈っていました。しかしそのような祈りは全く効果がありませんでした。なぜなら命を供給することができなかったからです。むしろ新人たちが離れてしまうこともありました。その後、新人たちが命において成長するようという観点から祈り、また彼らが機能できるように奉仕を案配することを学びました。また新人たちを家庭集会などで訪問する時にも、からだの中で、兄弟姉妹と交わりの中で、祈りの中で出て行くようになりました。以前は新人の状況が良くなったり悪くなったりすることで振り回されることもあり、顧みることが重荷だと感じていましたが、今は、兄弟姉妹とのからだの取り組みの中で主に信頼できるようになり、新人を顧みることが重荷ではなく享受であり、喜びが満ちるようになりました。今、召会は兄弟姉妹が主日の集会について、現場に戻るよう導いています。新人たちを訪問し、命を供給し、召会生活の実際の中へもたらすことができますように。

祈り おお主イエスよ、主の目には、ただ一つの務めがあるだけです。それは、キリストを人々に供給して、キリストのからだを建造することです。キリストのからだを建造する団体的な務めの中に、私にも果たすべき分があります。友人たちに福音を伝え、話をするときにもキリストを供給できますように。私は落胆せずに、新約の唯一の務めの中で機能します。

CP2 唯一の務めの下で、様々な個人の務めがある。一つからだの中で自分のポジショニングを理解して、自分の務め十分に果たす

II 前に述べたいいくつかの節は、新約における務めが団体的なものであることを啓示していますが、他のいくつかの節は、務めが個人的なものでもあることを示しています。新約の務めはキリストのからだの奉仕であるので、またからだには多くの肢体があるので、あらゆる肢体にはそれぞれ自身の務めがあります：**エペ4:11** そして彼ご自身は、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧する者また教える者として与えられました。

12 それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり、**1** 肢体の面から言えば、多くの務めがあります。しかしながら、からだ全体の面から言えば、ただ一つの務めがあるだけです。**2** 私たちの個人的な務めは、団体的な務めから分離しているべきではありません。**3** からだには団体的な務めがあり、からだのすべての肢体には個々の務めがあります。**4** すでに見てきたように、からだの肢体のすべての務めを共に加えると、団体的な務めに等しいのです。**5** さまざまな角度からの同じ語りかけがあるべきです：**1コリ1:10** さて兄弟たちよ、私は、私たちの主イエス・キリストの御名を通して、あなたがたに懇願します。どうか、あなたがたがみな同じ事を語り、あなたがたの間に分裂がなく、同じ思いの中で、また同じ意見の中で調和されますように。**1** 多くの人が起こされて、さまざまな角度から同じ事を語る必要があります。**2** 私たちは、主がさらに多くの人を起こして、この唯一の務めを遂行させると信じます。**3** 私たちはみなこの務めに分があります。これはさまざまな機能、さまざまな角度、さまざまな面を持つ一つの務めです。**4** 私たちは人に従ったり、だれかを模倣したりしているわけではありません。しかしながら、私たちは同じ事を供給しています。**III** 「それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり」(エペ4:12)

私が望むのは、来たるべき年に、多くの若者たちがからだの建造のためにキリストについて語るようになることです。私には、供給するただ一人の者になるという意図はありません。それどころか、私は主がさらに多くの人を起こして、唯一の務めを継続させてくださることを期待しています。私たちはみなこの務めに分があります。これはさまざまな機能、さまざまな角度、さまざまな面を持つ一つの務めです。あなたにはあなたの分があり、私には私の分があります。...私たちは皆地方召会の建造のために、命であるキリストを、すべてであるキリストを供給しています。これが主の回復であり、これが私たちの務めです。この務めに分があるとは、私たちは何と祝福されていることでしょう!

適用: ビジネスパーソン、大学院生編

証 私は、唯一の務めの下で、様々な個人の務めがあること、また唯一の務めも個々の務めも、その目的は、同じであり、キリストのからだの建造であることを証します。私は東京全時間訓練の講師として、授業などを担当しています。特に、組み合わせられて奉仕する時、私は以下の点に注意して奉仕しています。**①** 先に交わる兄弟の負担をよく聞き、同じ流れの中で交わりを発展させる。一つからだの

中の組み合わせの中で、聖霊の流れがあるので、その流れの中で奉仕する。②一を失うとすべての祝福を失うので、必ず競争する態度を持たないようにする。それは、物質の体には、多くの肢体があるが、調和の中で、からだの益のために機能しているように、キリストのからだも同様だからである。1コリ12:12 それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです。14 体は一つの肢体ではなく、多くの肢体から成っています。15 もし足が、「私は手ではないから、体に属していない」と言ったとしても、それで体に属していないわけではありません。16 またもし耳が、「私は目ではないから、体に属していない」と言ったとしても、それで体に属していないわけではありません。18 しかし今、神は各肢体を、それぞれ体の中に、彼の欲するままに置かれました。19 もし全部が一つの肢体であるとしたら、体はどこにあるでしょうか? 20 しかし今や、肢体は多くあっても、体は一つです。私はこのように機能するにあたって、先ず注意しているのは、全時間訓練における自分のポジショニングを理解することです。現在、最前面で奉仕している兄弟たちは私よりおよそ20歳若い人たちですが、私のこの奉仕でのポジショニングは彼らをサポートして、彼らがより負担をもって奉仕し易くすることです。四つの生き物の組み合わせで言うと、それは、前歩きではなく、後ろ歩きや横歩きに当たります。

5月の全国特別集会の西日本会場で、林鴻兄弟がメッセージの後、ライフスタディを毎日15分間追求する負担を交わってくださいました。私は林鴻兄弟の交わりの後、彼の負担を実行するために短く交わる必要を感じ、林鴻兄弟の許可を得て交わりました。私は自分の交わりの中で聖霊の豊かな油塗りを感しました。また、聖徒たちの反応も非常に良かったです。また、6月末の召会全体のブレンディング合同集會に全時間訓練生とトレーナーが参加しました。そのトレーナーは、「多くの肢体が様々な機能を発揮していて、豊かさが表現されており、大変享受しました」と言ってくれました。一つからだの中での聖徒たちの組み合わせがある時、いつも大きな祝福があります。

祈りお主イエスよ、唯一の務めの下で、様々な個人の務めがあります。一つからだの中で自分のポジショニングを理解して自分の務めを果たすなら、聖霊の流れの中で奉仕することができます。このような奉仕は享受があり、輝きがあります。天然の命の中の競争する霊を対処し、分裂から離れ、新約の唯一の務めの中で、建造のために自分の分を果たすことができますように。

神戸に在る召会交わりと報告事項

1. 台北61集会所との夜のブレンディングスケジュール: 夜は大阪(桃谷集会所、堺集会所)、東大阪、神戸(本山、六甲)に分かれてブレンディングを行います。神戸のブレンディングは以下の通りです。
18:00-19:00 神戸宿泊64名とBLD夕食(@本山、六甲)
19:00-19:30 交わり
19:30-20:30 夜の主日集会
2. 7月ビデオ訓練: 7/12(金)-8/3(土)
金曜: 19:30-21:00
土曜: 8:30-12:00
第一大地区@本山、第二大地区@六甲
※金曜日のビデオ訓練に参加出来なかった在職の兄弟姉妹は、16:30-18:00@本山でビデオ訓練に参加してください。
3. 2024年SST(真理のサマースクール): 8/12(月)-17(土)
東京基臨ビルで行われます。神戸から青少年14名、奉仕者10名が参加します。若者たちが時間を聖別して、真理の中に入り込み、仲間たちと共に主をエンジョイできるようにお祈りください。
4. 9月全国特別集会: 9/14(土)-16(月)
場所: 東京基臨ビル
14(土) 14:00-16:00 集会1
15(主) 10:00-12:30 パンさきと集会2
14:00-16:00 集会3
16(月) 10:00-12:00 集会4
※現地参加希望の締め切りは、8/4(主)です。
5. 9月青少年ブレンディング: 9/14(土)-16(月)
9月の全国特別集会と並行して行われます。
宿泊先: オリンピックセンター
参加費: 全参加2000円、1泊参加1000円(青少年)
全参加7000円、1泊参加4000円(一般)
参加申し込み締め切りは、8/4(主)まで。